

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式									
M212U201		老年看護学概論 (Introduction to Gerontological Nursing)					老年看護学											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態								
必修	1	2	医学部看護学科	前	水1	日本語				複数(共同)								
担当教員	氏名 三重野英子・小野光美・阿部世史美・正木孝幸																	
	E-mail eikomi@ 内線 5093																	
授業の概要	老年期を生きる人々（高齢者）とその家族に対して、個別的看護を展開するために最も基礎となる知識『老年看護の原理』『高齢者の生活像』を学修することを通じて、老年看護実践能力の基盤を形成する。																	
具体的な到達目標										DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	老年看護学および老年看護の概念を考察し、説明する。																	○
目標2	自分自身がもつ老いや高齢者に対するイメージを言語化し、自己の老年観を述べる。																	○
目標3	「加齢」「老化」「高齢者」「高齢者の健康」「生活機能」の概念を説明する。										○							
目標4	加齢現象について、心身機能・構造と日常生活(活動・参加)の両面から検討し、高齢期を健やかに生きるための知識を説明する。										○							
目標5	統計資料と高齢者の語りから、現代を生きる高齢者の多様な実像を説明する。										○	○						
目標6	老年看護の実践基盤となる看護倫理の原則を理解し、実践場面での倫理的課題を分析・検討する。													○				○
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
各DPへの関連度（計10）											4	1		1			4	
授業の内容																		
1	老年看護とは・老年看護学とは、私の老年観																	
2	加齢・老化の概念、高齢者の健康モデル、I C Fモデル																	
3	高齢者の心身機能・構造の変化と日常生活への影響 老化の学説、体温・呼吸循環系等																	
4	高齢者の心身機能・構造の変化と日常生活への影響 栄養・消化器系、腎・泌尿器系等																	
5	高齢者の心身機能・構造の変化と日常生活への影響 外皮系、感覚器系																	
6	高齢者の心身機能・構造の変化と日常生活への影響 運動器系、知的機能																	
7	現代を生きる高齢者の実像（統計・調査からみた高齢者像、高齢者の語りからみた高齢者像）																	
8	老年看護実践における倫理的課題																	
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
ラ イ ク ニ ン グ	A:知識の定着・確認	○	A：小テスト、実技、学習記録による振り返り等					工 夫 の 他 の	・画像や実習での実践事例を用い、老年看護のイメージを拡げる。 ・学生個々が考え、意見を述べる機会を頻繁に設ける。 ・公開授業の多世代の受講者と一緒に意見交換ができる機会を設ける。									
	B:意見の表現・交換	○	B：イメージマップ、発問、グループ検討															
	C:応用志向	○	C：グループによる事例検討・発表															
	D:知識の活用・創造	○	D：高齢者へのライフ・ストーリー・インタビュー															
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		課題レポート；ライフ・ストーリー・インタビューの協力者の選定・依頼・計画立案等の準備、実施、まとめ(11h) 教科書等を用い、次回の学修内容について予習する。（6h）															
	事後学修		授業資料、教科書、小テストを用い、授業で学修した内容を復習する。（6h）															
	想定時間合計		23															
教科書		北川公子著者代表（2025）：系統看護学講座 専門分野 老年看護学（第10版）、医学書院.I S B N 978-4-260-05689-2																
参考書		水谷信子他監修、三重野英子他編集（2025）：最新老年看護学2025年版（第4版）、日本看護協会出版会.I S B N 978-4-8180-2785-5																

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	ライフストーリーインタビュー・レポート	30%		○			○					
	期末試験	70%	○	○	○	○	○	○				
注意事項	毎回、学修記録の提出（Moodleアンケート）をもって出席状況を確認する。											
備考	・適時、授業資料や教材をMoodleにアップロードする（アップ時、メールで通知）。 ・本科目は、大分大学が大学開放事業として行う公開授業とし、授業に関心のある一般受講者を受け入れる。											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無	○											
教員の実務 経験	三重野（看護師）、小野・阿部（看護師、保健師）、正木（医師）											
実務経験を いかした教 育内容	・看護師、医師としての臨床や教育、地域貢献の経験をいかし、高齢者事例を教材に講義を行う。											